

バングラの大規模河川 浸食抑制に貢献

オリエンタルコンサルタンツグループら3社JVが、バングラデシュの大規模河川で相次ぎ発生する水害対策に奔走している。ガンジス川の支流「ジャムナ川」は堆積土が水流の力で崩壊する河岸浸食が発生し、周辺住民の生活を脅かしている。河川管理の検討業務を受注した3社は、河川の分岐点に「土のう」を設置して浸食を抑制する方法を模索。河道拡大を抑える提案として同国らに行う方針だ。



河岸浸食で家屋や田畑が流されている

オリコンサルグローバルら

分岐点への土のう設置提案

2000mの距離に位置し、延長約500mの規模。ヒマラヤ山脈から流れ出た土砂は粒径が0・1と細かく、流出量は年間5〜6に上る。河岸浸食の進行によって家屋や田畑が流される被害が多発している。国際協力機構（JICA）は日本の技術を移転する「技術協力プロジェクト」を活用し、河川管理計画の立案業務を発注。オリコンサルグローバルら3社は、河道拡大を抑える提案として同国らに行う方針だ。2000mの距離に位置し、延長約500mの規模。ヒマラヤ山脈から流れ出た土砂は粒径が0・1と細かく、流出量は年間5〜6に上る。河岸浸食の進行によって家屋や田畑が流される被害が多発している。国際協力機構（JICA）は日本の技術を移転する「技術協力プロジェクト」を活用し、河川管理計画の立案業務を発注。オリコンサルグローバルら3社は、河道拡大を抑える提案として同国らに行う方針だ。

などさまざまな対策内容を検証した。その結果、「河川の分岐点ごとに土のうを設置して河川の広がりを抑制する」方法が有力。北村忠紀オリコンサルグローバルら3社が、河道拡大を抑える提案として同国らに行う方針だ。